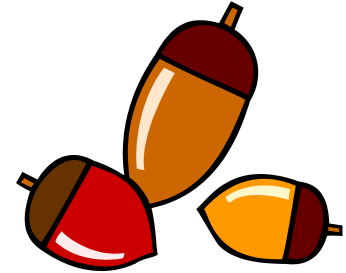




## 変わる



何をしても面白くない、つまらないと言う。けれどもそれは、自分の考え方や行動で、みずからそうしているという場合が、案外多いのではないかな。

仕事でも、趣味のスポーツや稽古事でも、覚え初めはおおかたが単調でつまらない。しかしその時期にしっかりと努力を重ねた人だけが、楽しさを味わえる次の段階に進むことができる。ちょっとやってみただけで、これはつまらない、自分には合わないと思ってしまうならば、何をしても面白いはずがない。

親や上司から叱られる。腹が立ったり不愉快になったりするけれども、叱られたことのほんとうの意味をよく考え、生かすことができるならば、叱られたことにもありがたさ、愉快さを味わえる。叱られてすぐプイと横を向いてしまうような態度をとり続けるかぎり、不愉快はいつまでも不愉快のままであろう。

面白くなければ、自分の考え方を試してみることである。つまらなければ、自分のやり方を変えてみることである。そしてこの変わろうということの中にこそ、みずからの成長というものもあるのではなかろうか。

【PHP より抜粋】

昆虫が好きでカブトムシをこの夏も育てていました。毎年この時期は、卵があるかなあ～と思いつつ虫箱を確認していました。カブトムシは、卵→幼虫→さなぎ→成虫とそれぞれの時期を経て変化していきます。ちなみにさなぎの時もとてもよく動きます。さなぎから成虫になると羽部分は、真っ白でだんだんと茶色から黒に変わっていきます。アゲハチョウやモンシロチョウも同じです。昆虫は、その時々大きな変化をし、成虫へと育っていきます。

さて我々人間はどうでしょうか？哺乳類は、見た目の形は変わることなく、だんだんと大きく成長していきます。小さい頃の写真を見てもどことなく面影もあり、今の自分と変わっているのはやはり身長や体重などの大きさです。

しかし、大きく変わっている部分もあります。「心」「考え方」「好み」などはどうでしょうか？思春期は、心と体のバランスをとるのが一番難しい時期です。ひとりになったとき、自分の考え方について振り返ってみてください。自分の良さを再確認してみてください。我々人間にも、変わるチャンスがあります。チャンスを生かすことで新しい自分を見つけることもできるのです。テスト発表中は、ひとりでテスト勉強をする時間も増えると思います。そんなときに自分自身について振り返るのもいいかもしれませんね。変わろうと思ったときこそ最大のチャンスです。詫間中学校もどんどん変わりながら成長していく学校です。みなさんは、その一員なのです。

